



2025～2026 年度
RI 会長メッセージ

UNITE FOR GOOD
よいことのために手を取りあおう

豊橋北RC
会長テーマ

利他と言う高みに登る為に
本気でやるべきことを
皆でやりましょう

2760 地区

例会日＝毎週火曜日 12:30 例会場＝ホテルアークリッシュ豊橋 会長 高坂泰弘 副会長 酒井和良 幹事 川口和樹

豊橋北ロータリークラブ 〒440-0075 豊橋市花田石塚 42-1 豊橋商工会議所内 TEL(0532)53-1000 FAX(0532)53-6447

第 3 2 3 4 回例会

12 月 9 日〈火〉

vol. 70 No. 17

ゲ ス ト : 大谷忠興氏(特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラム 理事長)
菅野定氏(㈱紙半 代表取締役)・有水希養子氏(瘦身専門 HanaPono)
ハサン モハammad タンヴィル君(米山奨学生)・アルファロ フェレイラ君(サンクス奨学生)
ビ ジ タ ー : 中川健会員(㈱新広総研 代表取締役/春日井 RC 会長エレクト)
出 席 報 告 : 会員 58 名 欠席 14 名 出席率 75.86% 前々回修正 100.00%
ロータリーソング: 我等の生業

メニュー: 中 華

会長挨拶・報告

高坂泰弘会長



本日のゲストをご紹介します。
特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム 理事長、大谷忠興様。米山奨学生のハサン モハammad タンヴィル君。サンクス奨学生のアルファロ フェレイラ君。本日は 2 名の方が体験例会として参加されています。㈱紙半 代表取締役、菅野定(かんの さだむ)様。瘦身専門 HanaPono、有水希養子(ありみず きよこ)様。またビジターとして春日井 RX 会長エレクトの中川健様(㈱新広総研 代表取締役)が例会に参加されています。よろしくお願いいたします。

昨夜、青森で大きな地震が発生しました。徐々に判明する被害の大きさに衝撃を受けております。いつ何時襲い掛かってくるのか分からない自然災害には出来る限りの備えをするしかありません。ただ、人間による人災はもう勘弁して頂きたいものです。

12/6(土)、公益財団法人善意銀行の主催する善銀サンタ事業として、市内の若草育成園と、ゆたか学園に訪問させて頂きました。若草育成園では様々な事情で親と一緒にいられない子ども達が、ゆたか学園では知的障害のある子ども達がそれぞれ生活しています。豊橋南 RC の大澤会長、ソロブチミストの安達さん(安達道行会員のお母様)、野寄さん(元会員の野寄一司さんの奥様)と一緒に、サンタクロースの衣装に着替えクリスマスプレゼントを子供たちにお渡ししました。

多くの子ども達は明るく目を輝かせ私達を待っていてくれて、勝手に暗いイメージを持っていた私の考えを吹き飛ばす勢いがありました。ちょうど孫に近い年齢の子ども達です。用意されたプレゼントは普通のお菓子の詰め合わせで、お礼に「ジャンボリー・ミッキー」を元気よく踊ってくれました。

しかし高価な玩具を貰えたり、ディズニーランドに連れて行ってもらえる子ども達もいるだろうと考えてしまったりもしました。また数名の年上の子ども達の覚めた視線も気になりました。保護者の不在、虐待やネグレクトの結果に胸が締め付けられる思いです。普段は施設の前の道を通りだけでしたが、その内側の仕組みに社会の抱える苦悩を思い知り、来てよかったと感じました。どなたでも見学はできるとのことでしたので、皆様も機会があれば足を運んでいただければと思います。

12/8(月)に東三河分区分会幹事会が開催され、川口幹事と共

に参加しました。簡単にご報告をさせていただきます。

- ① 2026-27 年度東三河分区分会ガバナー補佐は新城 RC の夏目工(たくみ)会員、分区分会幹事は同じく新城 RC の楠芳高会員に決定。
- ② 今年度の東三河分区分会 I. M. は 2026 年 2 月 14 日(土)に開催。能登 RC2023-24 年度会長の三宅一宏様他をお招きして、地震をテーマとしたパネルディスカッションがメイン。各 RC には全員登録をお願いしたい。
- ③ 分区分会親睦ゴルフ大会は 2026 年 4 月 13 日(月)に開催。
- ④ ポリオ撲滅への冊子を作製し、広告協賛をお願いしたい。
- ⑤ 台北国際大会「地区ナイト」について現時点で 500 名以上の参加予定をいただいている。

【米山奨学生奨学金授与】

ハサン モハammad タンヴィル君

今月は予備審査があり大変忙しかったです。無事に合格することができました。卒業まであと一歩です。

12/6(土)は熊田カウンセラーと一緒に米山奨学生の忘年会に参加しました。米山奨学生としての最後の一つ前のイベントだと思うと、悲しい気持ちもあります。



【サンクス奨学生奨学金授与】

アルファロ フェレイラ君

最近母国インドネシアで自然災害が起きてしまいました。インドネシアの人達は非常に悲しんでいます。私の実家は被害があった島とは別の島だったので、幸い無事でした。

今月は研究が大変忙しかったです。遺伝子組み換えの実験では失敗が続いており、きりが無いような状況ですが、モチベー

ションはまだありますので、今からどんどん実験をしていきたいと思います。

最近ではカボチャを買いました。日本ではカボチャを煮物やてんぷら等、おかずとして食べますが、インドネシアではカボチャはデザートです。ココナツミルクとブラウンシュガーと一緒に食べます。反対にタピオカは日本ではデザートですが、インドネシアではてんぷらにしてチリソースで食べます。こんなことから日本とインドネシアの文化の違いを感じ、それぞれ面白さがあって素晴らしいと思いました。



【2026-27 年度理事・役員紹介】 石川誠会長エレクト



12/2 の年次総会におきまして次年度の理事・役員のご承認を頂きました。ありがとうございました。その日の夜に第 1 回予備理事会を開催し、各役職を決定いたしましたので、本日ご報告をさせていただきます。このメンバーで来年度も頑張りますので皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

豊橋北ロータリークラブ
次期 (2026~2027) 理事・役員

理事・役員	石川 誠	(会長)
理事・役員	高坂泰弘	(直前会長)
理事・役員	下山暢子	(会長エレクト)
理事・役員	安達道行	(副会長・クラブ奉仕)
理事・役員	松井幹晴	(幹事)
理事・役員	河合成高	(会計)
理事・役員	山内有恒	(S. A. A.)
理事	田崎政秀	(副幹事)
理事	水越英明	(職業奉仕)
理事	氏原憲志	(社会奉仕)
理事	浅野 卓	(国際奉仕)
理事	藤城寿彦	(青少年奉仕)
理事	小林利生	(親睦活動)
理事	伴 俊樹	(会場)

幹事報告

川口和樹幹事

- ①2026-27 年度理事・役員一覧、ロータリーの友 12 月号を状差しに配布しました。
②クラブ HP の「クラブ概要」2024-25 年度を更新しました。
③当クラブ『四十年史』をご希望の方は幹事もしくは事務局へお申し出ください。

例会変更

12 月 17 日(水) 豊川 RC 渥美 RC 豊橋東 RC
12 月 18 日(木) 豊橋 RC 田原 RC

12 月 19 日(金) 蒲郡 RC 新城 RC 豊橋ゴールデン RC
12 月 22 日(月) 豊橋南 RC
12 月 23 日(火) 豊川宝飯 RC

例会休会

12 月 23 日(火) 田原パシフィック RC 豊橋北 RC
12 月 24 日(水)~1 月 4 日(日) 東三河分区全 RC

ロータリーの友紹介

岡本敏幸広報・雑誌委員

12 月号の紹介 疾病予防と治療月間
横組み 表紙:突き進む蛇のごとく
2-3 頁:RI 会長メッセージ 健康と幸せのために
フランチェスコ・アレツォ
5-11 頁:ロータリー談義 前編
3 人寄れば、何とやら?
話に花を咲かせましょう
14-19 頁:RPIC×『ロータリーの友』特別企画
参加して良かったポリオ根絶活動 第 1 回
26-27 頁:よねやまだより Campus & Diary
サハン・ヒロシ・ウィクラマ・スングラ
縦組み 2-6 頁:日本生まれ、世界育ちの母子手帳
〜黒潮が教えてくれた世界の歩き方〜
(公社)日本 WHO 協会理事長 中村安秀
19 頁:私の一冊
『静かに退職する若者たち
部下との 1on1 の前に知っておいてほしいこと』
金間大介著 PHP 研究所

委員会報告

ロータリー財団委員会

安達道行委員長

今井教博会員より 150 ドル、中立清昭会員より 100 ドルの寄付がありました。有難うございました。

米山記念奨学委員会

松尾浩志委員長

中立清昭会員、今井教博会員より 1 万円の寄付がありました。有難うございました。

豊橋北 RC 奨学金基金

藤井純一委員長

匹田雅久会員、鈴木大次郎会員、橋本努会員、辻直樹会員、藤城寿彦会員、氏原憲志会員、高橋誠会員、今井教博会員より 1 千円の寄付がありました。ありがとうございました。

国際奉仕委員会

藤井純一委員長

「愛の小銭箱」へのご協力よろしくお願いいたします。
(集計結果: ¥23,000)

親睦活動委員会

河合成高副委員長

次週の例会は年忘れ家族会です。「クリスマスを彩る オペラナイト」と題し、豊橋出身のオペラ歌手である峯島望美さん、ピアニストの鈴木雅子さん、ヴァイオリニストの大竹広治さんによるクリスマスに相応しいオペラをお楽しみいただきたいと思います。

ニコニコボックス

河合修治会場委員

中川健会員 (春日井 RC)	よろしくお願いいたします。
匹田雅久会員	朝倉川育水フォーラム理事長 大谷忠興様、ようこそ来訪くださり大歓迎を申し上げます。楽しいお話や苦労話をお聞きできることを楽しみにしています。

岡本敏幸会員	今月から2月までロータリーの友紹介担当します。よろしくお願いします。
安達道行会員	大谷理事長ようこそ！卓話楽しみにしています。
石川誠会員	①菅野定様、有水希養子様、本日は体験例会へのご参加、誠にありがとうございます。是非私達の仲間に入って下さい。②母 石川志計が12/1、90歳で永眠いたしました。葬儀は12/3に家族葬にて済ませました。父 顕次存命時より家族会等で大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。
岩瀬忠成会員	朝倉川育水フォーラム 大谷忠興理事長、講演楽しみにしています。
諸隈亮会員	オフィスをemCAMPUSへ移転します。豊橋の拠点はそのままです。今後ともよろしくお願いします。
中立清昭会員	有水希養子様、本日は体験例会ご参加ありがとうございます。
今井教博会員	①大谷忠興さん、豊橋北RCにお越しいただき誠にありがとうございます。本日の卓話楽しみにしております。②菅野定さん、体験例会にお越しいただき誠にありがとうございます。本日は例会の雰囲気を感じて、食事をしながら楽しんでいただければと思います。
高坂泰弘会員 川口和樹会員	特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム理事長 大谷忠興様、ようこそ豊橋北RCへ。ご来訪を心より歓迎いたします、本日の卓話、楽しみにしております。

本日のプログラム

担当：社会奉仕



岩瀬忠成副委員長

尾藤社会奉仕委員長が急遽ご欠席となりましたので、代理で進めさせていただきます。本日の例会は特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラムの大谷忠興理事長をお招きしてお話をさせていただきます。それではよろしくお願いいたします。

【「朝倉川育水フォーラム」の取り組みについて】

大谷忠興氏



平素は我々の活動に対して、多大なご協力を頂きましてありがとうございます。また本日はこのような貴重な機会をいただき、大変感謝しております。よろしくお願いいたします。

朝倉川育水フォーラムは簡単に言うと「ゲンジボタルの為にできることを事業化して年間を通じて活動している団体」です。今から30年前、高度経済成長期が終わり、環境のことを顧みなかったことによって、山や川が荒れていた時代がありました。朝倉川も例に漏れず、ゲンジボタルが絶滅の危機を迎えていました。今ここで何とかしないと本当に途絶えてしまうことになりかねないというのが、我々の団体のスタートです。

ゲンジボタルの幼虫は川の中にいます。幼虫は汚い水では生きていけません。まずは幼虫にとって望ましい水質を取り戻す

こと、そしてゲンジボタルの幼虫のエサを増やすことが必要でした。ゲンジボタルの幼虫のエサはカワニナという巻貝です。このカワニナも汚い水では増えません。カワニナを増やす為にも水をきれいにする必要があります。

川を直接きれいにする活動として、1997年の設立当初から「朝倉川530大会」を継続的に行っています。530運動環境協議会にもご協力を頂いております。

並行して次世代を育てていく啓蒙活動として、「朝倉川へのメッセージ」の募集を行っています。豊橋市内の小中学生をはじめとして一般の方も含め、毎年約500～600作品に及ぶ応募を頂いています。朝倉川に対する思いを絵にいただき、コンクール方式で発表しています。朝倉川に対する思いを育む、次世代に思いをつないでいくことを目的としています。

1998年からの5年間には、愛知県の「水辺の緑の回廊」事業との協働で、「朝倉川植樹メンテナンス大会」を実施しました。内山川と合流する地点、現在の東陽生涯学習センター周辺1kmにわたって44,000本の植樹を行いました。また植樹を行っただけでなく、住民の皆さんの安全、安心、調和を図りながら、生物多様性、特にゲンジボタルにとって望ましい環境を創出することを目指し、河川管理者、自治会、企業などで構成される「朝倉川植樹メンテナンス大会実行委員会」を中心として、地域の自然環境、治水と生活とのバランスを考えながらメンテナンス作業を実施しています。

人間が生活していく上で発生する光は本当に強い光です。街灯の光があるだけで、ホタルが発する光は簡単に打ち消されてしまいます。ホタルは光することでオスとメスが出会い繁殖するという生存戦略をとっていますので、周囲の光を遮ることが重要です。植樹によって我々の暮らしの光を遮るという効果も期待できます。また、ホタルは飛ぶのが下手な虫でもあり、ちょっとした風でも飛ばされてしまいます。植樹した木々が防風林の役割も果たしています。

現在、地球温暖化が問題となっています。朝倉川の水温も夏場は30℃以上と熱帯魚が棲むような温度まで上がります。ホタルの幼虫が生息できる水温の上限は26～27℃なので、そこまで水温が上がると死滅してしまいます。しかしこの植樹をしたエリアについては、適度に日影が創出されていることで河床温度が上がり過ぎず、毎年沢山のゲンジボタルが育っています。

朝倉川の源流は弓張山地・多米エリアです。水を育んでいる場所の環境も整備していかなければ、安定した水質、水供給が亡くなってしまいます。そういったことから里山づくり、ビオトープ保全活動も行っています。先程、ゲンジボタルが絶滅寸前だったと申し上げましたが、万が一に備えてDNAをプールをしておこうというのが、ビオトープを作った起点でした。

現在では皆様のご協力によって、自然のスパイラルの中で安定した頭数のゲンジボタルが確認できるようになりました。その為、ビオトープは役割を変え、市内の小中学校の環境学習授業に使用されています。

ゲンジボタルを保全していく活動の中で環境が好転し、元々確認されていなかった希少な動植物も増えてきました。ニホンウナギ、ウツセミカジカ等に生息も確認されています。

水質調査も行っており、数値的な結果も大変良くなっています。COD(化学的酸素要求量)という水質汚濁指標でも、市街地を流れる川の中では全国でもトップレベルに近い数値を安定して保っています。皆さんが協力して朝倉川を大切にしてくださいという結果だと思います。

また、川で遊ぶ子ども達を増やしたいということからも活動を行っています。川遊びは危険も伴いますので、親御さんも止めがちではあると思います。しかし、川のことを正しく知り、正しく恐れる、この様な認識を持ってもらうことで、しっかりとし

た「親水」、水との関わりが生まれていくのではないかと思います。こちらでも精力的に市内の小中高を回って啓蒙活動を行っています。絶滅危惧種「川ガキ」の再生もその取り組みの一つです。

ゲンジボタルは清流や健全な自然環境に生息しているというイメージがあるかと思います。育水フォーラムの会員だけで活動をしていても前へは進めません。市民の皆さん、企業、行政、自治会等を巻き込んで、いかに運動を前進させていくかということを考えた時に、ゲンジボタルの生息できる環境を回復させるということを言った方が、協力者をつかまえやすいのではないかと思いますので、ゲンジボタルをクローズアップして活動を行っています。

生態系を回復させる時に何を軸にするかを考えた場合、軸にすることで自然にとって自ずと望ましい環境がプラスのスパイラルで回ることが重要になります。我々はそこにゲンジボタルを据えて活動を始めたということになります。

今年の5月、日本動物園水族館協会の総会とWAZA(世界動物園水族館協会)の総会が同時に豊橋で開催され、秋篠宮皇嗣殿下もご出席されました。私もそこでお話をさせていただきましたので、尾藤委員長からその時の話をしたいとのリクエストがありました。しっかり話そうとすると時間が足りませんので、今回はエッセンスだけお話しさせていただきます。

朝倉川育水フォーラムには専門家はいません。自然や生き物が好きな人間が集まってやっているので、環境保全を行うにあたって何を拠り所にするかということを考えた場合、やはり研究者の方との協力が必要になります。我々の団体は、名古屋大学、愛知教育大学、人間環境大学、のんほいパーク、豊橋市環境保全課、愛知県環境保全課などと組んで活動を行っています。

まず、この生き物を保全するにはどうしたら良いかということを探します。そしてその生き物のことをよく知った上で、地域住民でもできるやり方に置き換えて、我々が提案するという形でやっています。朝倉川には下流から上流まで色々な地区があります。それぞれ保全したい生き物は異なっているので、やっていることも違います。

保全を行っている生物の中にアカハライモリという両生類があります。両生類には「無尾目」と「有尾目」という分類があり、無尾目は所謂カエルです。アカハライモリは有尾目のイモリ科の生物で、豊橋市内にも絶滅せずに生き残っている個体があります。今年の1月に愛教大と京都大学のチームから、絶滅してしま

ったとされていたアカハライモリの渥美種族が50年ぶりに再発見されたという報告がありました。渥美種族は渥美半島と知多半島のごく一部にしか生息していないアカハライモリ的一种で、この再発見に私も関わっていました。

総会ではこのような生き物達の保全の話をさせていただきました。日本には大きく分けて6つのアカハライモリのグループがあります。東海エリアに生息しているのは背中が黒くお腹が赤い「中間種族」です。繁殖期になるとオスはメタリックブルーの婚姻色に変化します。

渥美種族は見た目が全く違います。現在種として分化している真っ最中であり、長い年月が経つと別種になると考えられています。世界中で渥美半島と知多半島のごく一部にしか生息していません。今回お見せしている画像すらも大変貴重なものだと思います。愛知県では希少種指定となっており、少し触っただけで罰金300万円、営利目的で法人が何かしたら罰金1億円が課せられます。私はたまたま発見者側にいて、愛知県と環境省と愛教大から許可を頂きましたので、ある期間だけ触ることができました。今回の写真もその時に撮影し、また渥美種族と認定される前に撮った写真なので問題はありません。

朝倉川にも渥美種族寄りの中間種族と渥美種族の交雑種が生息しています。大変貴重な存在なので、大切にしていかなければいけません。少し生息地が違うだけで見た目が大きく異なっており、集団ごとに隔離されて独自の進化をしています。絶滅させてしまって未来の子ども達に恨まれないように、どのグループも保全を進めています。

大学やのんほいパーク等と連携し、地域住民がしっかり保全できるように、しっかりと協力しています。漏洩してしまうと営利目的に利用されてしまう可能性があるのも、なかなか表に出せないというのが現状で、辛いところでもあります。

サンショウウオも生息しています。ただ見つめるのは非常に困難です。

これらの生物は繁殖期以外は陸上で生活しています。健全な水域と健全な森林環境が揃っていなければ彼らは生きていけませんし、我々の暮らしにも大きな影響があります。このような環境があることで我々も快適な暮らしができると思います。朝倉川育水フォーラムは、小さな生き物たちが生き生きと暮らせる環境を未来に残していきたいという思いで活動を行っております。ご清聴ありがとうございました。



監修・発行	会場委員会
写真撮影	会場委員会